

# 支え合い通信

No.3

仕事や家庭以外に外に出て、  
誰かと会って、  
気軽に話を楽しめる“場所”は  
ありますか？



つなげよう！

広げよう！

みんなの

“居場所”

来る前よりちょっと元気になって  
帰れる場所。

『困ったときはお互い様！』と  
言える誰かとつながれる場所。  
そんなちょっとした場所を  
あなたが持っていることが、  
日頃から支え合える関係を作るため  
に、とても大切になっています。



## 今号の内容

- 支え合いの地域づくりが始まっています  
…「協議体」について、協議体の取り組み紹介  
…支え合い活動のつなぎ役「生活支援コーディネーター」と「地域支え合い推進員」

# 誰もが住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることができるまち そんなまちを目指して、支え合いの地域づくりがはじまっています。

超・超高齢化社会となっている、現在の陸前高田市。誰もが住み慣れた地域でいつまでも住み続けることができるまちを目指して、本市では地域支え合い活動推進事業に取り組んでいます。安心して暮らせる地域をつくるには、何気ない支え合いが必要となっています。そんな地域をみんなで考えて、みんなでつくっていきましょうというのがこの事業の目指すところです。

## 取り組み① 協議体の設置

協議体は地域の困りごとをみんなで共有し、どんな支え合いをしようかを考える場です。地域でできることは地域で取り組み、地域内だけでは難しいことは関係各所に声を届けていきます。みんなで知恵を出し合う場です。



### ? どんな人が参加しているの?



各コミュニティ推進協議会単位で実情が様々なことから、地区の中で協議体の参加者を相談して、集まった参加者で地区の支え合いのことを話し合っています。

### ? 何をしているの?

定期的集まって、地域の支え合いのこと、高齢者のみなさんの困りごとについて話し合いをしています。

たとえば…

- 通院や買い物などの日常生活の困りごとのこと
- 一人暮らしや高齢者世帯の見守りのこと
- サロン活動やお茶っこのこと

協議体は単に話し合うだけではなく、自分たちでできそうなことを考えて実践したり、専門家につないだ方がよいことを整理したりもしています。



生出地区

地域で出来る見守りを考える



生出地区の協議体は今年で3年目です。「みんなで支えみんなに支えられ～若者の夢を力に～」のスローガンを掲げて、生らしい支え合いのあり方を考えています。

中でも、「一人暮らしの高齢者の見守り」を優先して取り組むことに決め、日常の暮らしの中で無理なくできる見守りの方法について、具体的な取り組み方をみんなで話し合っています。

協議体の参加者



長部地区

居場所づくりの輪を広げる



長部地区は協議体ができて2年目。行政区ごとにお茶っこ会など居場所づくりの取り組みが進んでいます。

協議体には集まりの場のお世話役のみなさんが参加して、「集まりの場にどうやって参加してもらうか」、「集まりの場を広げていくか」などを話しながら、一人ひとりが楽しく暮らす長部にしていけるように、みんなで考えています。

協議体の参加者



広田地区

地域の困りごとをみんなで学ぶ



広田地区の協議体も2年目です。広田ではコミュニティ推進協議会の中に置いている「豊かな町づくり部会」を協議体として、民生委員を中心にした「広田をより良くする教室」と連動して、地区の困りごとにとどのように取り組むかを話し合っています。

「広田をより良くする教室」では診療所の先生を招いて勉強会も行いつつ、困りごとをどう解消するかをみんなで考えています。

協議体の参加者



各地区ごとの協議体での話し合いが進んでいく中で、地域内だけで解決するのが難しいことが出てきています。

本市では、この困りごとを関係各所に届ける場も設置しております。

参加者

地域支え  
合い  
推進員

地域包括  
支援セン  
ター

市  
担当課

生活支援  
コーディネーター

社会福祉  
協議会

※必要に応じて、参加団体や担当者は変更となります。

## 取り組み② つなぎ役となる生活支援コーディネーター・地域支え合い推進員の配置

地域の支え合いは、協議体だけで取り組むものではありません。地域に暮らすみなさんがお互いさまの関係を活かして支え合いを進めるために、ヒトやモノをつなぐ「つなぎ役」も必要です。

陸前高田市には支え合い活動のつなぎ役として、市内全域で活動する「生活支援コーディネーター」と、地区のコミュニティ推進協議会単位で活動する「地域支え合い推進員」がいます。

### 生活支援コーディネーター・ 地域支え合い推進員ってなあに？

暮らしの不安やニーズを調査し、住民がどんな地域で暮らしたいと思っているかを把握して、協議体や関わる人、機関に**つなぎ**ます。また、各地区の協議体の設置や運営の補助もしています。

高齢者の暮らしの困りごと、居場所づくり、専門家へのつなぎなど、支え合い活動に関わることは生活支援コーディネーターにお気軽にご相談ください。

### 私たちが 生活支援コーディネーターです！

地域包括支援センター ☎ 22-8671



陸前高田まちづくり協働センター ☎ 47-4776



### 「地域支え合い推進員」 5つの役割

地域支え合い推進員は、お互いさまの心で地域の暮らしを支え合っていくための、“**地域の住民のみなさん**”と

“**必要な人やもの・様々なサービスなど**”の**つなぎ役**です。

各地区のコミュニティ推進協議会単位で一人ずつ陸前高田市から委嘱されています。

#### は まかだしながら情報収集

みなさんとはまかだしながら、良いところや困りごとを集めます。

#### ま ざって、伝える

はまかだして集めた情報を協議体や自治会、お茶っこ会などでみんなと共有します。

#### ★ 居場所をつくります

今あるものを上手に活用しながら、高齢者の居場所づくりに取り組みます。

#### 地域の声に耳を **か** たむけます

集まりに参加する人、集まりを運営する人、地域の人の思いと気持ちに寄り添います。

#### **だ** れかと誰か（何か）をつなげます

地域支え合い推進員は一人で活動するのではなく、協議体や地域のみなさんと一緒に活動することで、つなぎ役としてはじめて力を発揮します。

推進員の活動にご協力をよろしくお願いいたします。